HITACHI
Inspire the Next

日立IHクッキングヒーター（ビルトインタイプ）

# 設置工事説明書

トッププレート幅60cm

型式 **HTB-A7**　（ブラックタイプ）
型式 **HTB-A7S**　（シルバータイプ）

### 工事される方へのお願い

- この設置工事説明書は天ぷら鍋、取扱説明書、保証書とともに必ずお客様にお渡しください。
- 本体設置時に、トッププレートや操作部ユニットを分解しないでください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。

## 安全のため必ずお守りください

設置をする前に、この設置工事説明書をよくお読みになり、正しく工事をしてください。
ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ずお守りください。表示と意味は次のようになっています。

| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。 |
|---|---|
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示します。 |

### 絵表示の例

この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が描かれています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

### ⚠警告

**設置工事は、この「設置工事説明書」に従って、確実に行う**（ブレーカーは「切」にして行ってください）
設置に不備があると、漏電・火災の原因

**200V－30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する**
この工事をしないと、配線部が異常発熱する恐れがあり、感電・火災の原因

**絶対に分解・修理・改造は行わない**
発火・異常動作してけがをする恐れ
分解禁止

**電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」が行う**
接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因

**アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う**
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
漏電時に感電の恐れ
アース線接続

### ⚠注意

**トッププレートに衝撃を加えない**
万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因
※トッププレートの上に乗ったり物を落としたりしない。

**試運転中は、トッププレートやグリルなどの高温部に触れない**
やけどの恐れ
接触禁止

**カウンタートップの材料は、耐熱材料のものを使う**
熱硬化性樹脂化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上のもの
耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因
※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

# 設置工事をされる方へのお願い

●この商品は、適切な電気工事と設置がされていませんと性能が十分発揮できないばかりか、過熱などの危険が生じる場合がありますので、この設置工事説明書をよくお読みのうえ、適切な工事をお願い致します。
必ず、システムキッチンなどに組込んでください。
●電気工事は、必ず「電気工事士」の免許をお持ちの方が行ってください。
●工事完了後は、必ず「工事完了後の確認」を行い、お客様へご説明ください。
●付属品の確認をしてください。

| 上ルーバー | 吸・排気カバー | 焼　　網 | 天ぷら鍋 | グリルドア | 受　　皿 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1個 | 2個 | 1個<br>グリルの中にセットされています。 | 1個 | 1個 | 1個<br>グリルの中にセットされています。 |

※取扱説明書、保証書があることを確認してください。

## ⚠お願い

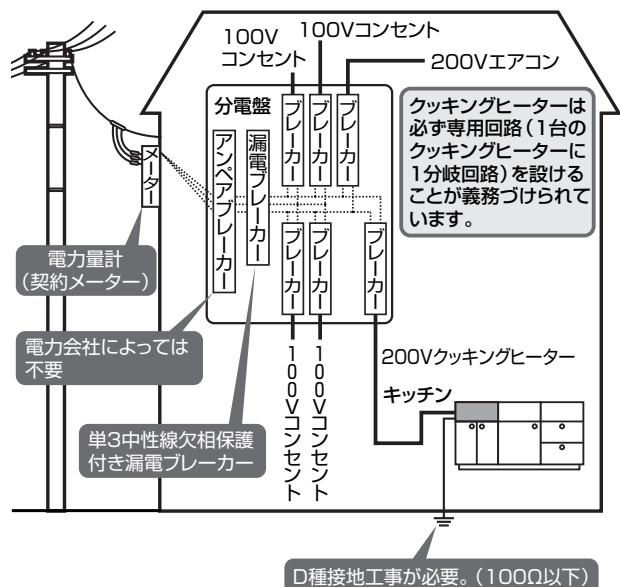
**設置するときは、火災予防条例に基づき、必ず可燃物との離隔距離を守る**
離隔距離が近いと火災の原因

**電源電線およびアース線は、プラグを外して直結しない**
漏電やショートによる感電・発火の原因

**プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込む**
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、感電や火災の原因

# 電 気 工 事　必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

## 〈専用回路の設置（単相200V）〉

100V コンセント
100Vコンセント
200Vエアコン
分電盤
アンペアブレーカー
漏電ブレーカー
ブレーカー
メーター
電力量計（契約メーター）
電力会社によっては不要
単3中性線欠相保護付き漏電ブレーカー
100Vコンセント
100Vコンセント
200Vクッキングヒーター
キッチン
クッキングヒーターは必ず専用回路（1台のクッキングヒーターに1分岐回路）を設けることが義務づけられています。
D種接地工事が必要。（100Ω以下）

**【総消費電力の切り替えについて】**
本製品は、総消費電力を5.8kW（工場出荷時の設定）・4.8kWに切り替えることができます。アンペアブレーカーの容量不足の場合などで、ご使用上不便があるときに選べます。
※詳細は、お買上げの販売店へお問い合せください。

**●切り替え方法**
①右ヒーターの設定キー ◀▶ 2つのキーを同時に押しながら電源スイッチを押し電源を入れる。➡
　・表示窓の左ヒーター表示部に 5.80 が表示される。
　・パネル操作部表示窓に 23 が表示される。
②左ヒーターの設定キー◀を押す ➡ 4.80 が表示され4.8kWに設定される。
③左ヒーターの設定キー▶を押す ➡ 5.80 が表示され5.8kWに設定される。
※キーを押さない状態で5秒経過すると、切り替えられなくなります。このときは、再度①②③の操作を行ってください。
④電源スイッチを押し電源を切る。
※設定の確認は①の操作を行って下さい。設定の確認後は電源スイッチを押し電源を切ってください。

●クッキングヒーター用のコンセントは規格で次のようなものが標準品となっていますので、事前にご確認の上、設置してください。

| 器具の容量 | 幹線の太さ | コンセントの形状 |
|---|---|---|
| 30A | φ2.6mm | 単相200V用（接地極付）250V−30A |

# 各部のなまえ

## 本 体

※この機器は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

### 上面操作・表示部

●上面表示部

左ヒーター表示　中央ヒーター高温注意表示　右ヒーター表示

火力バー
火力を表示します。

◇液晶表示が光り、「1」～「12」で火力の設定状態をお知らせします。
※液晶表示は、左・右ヒーターの操作を終えてから約10秒後に減光します。再度操作をすると、もとの明るさに戻ります。

●上面操作部

火力キー　タイマーキー　火力キー　タイマーキー

左ヒーター切/スタートキー
設定キー
• 火力調節
• タイマー時間設定
• 揚げものの温度設定、湯わかしの仕上がり調節
メニューキー
• 揚げもの、湯わかしの設定
右ヒーター切/スタートキー
設定キー
• 火力調節
• タイマー時間設定
• 揚げものの温度設定
揚げものキー

### 本 体

中央ヒーター(1.2kW)(クイックラジエントヒーター)
※グリルとの同時使用はできません。

吸・排気カバー
中に吸気口と排気口があります。

右ヒーター(3.0kW)
(IH ヒーター)

左ヒーター(3.0kW)
(IH ヒーター)

トッププレート

プレートワク

上ルーバー

電源コード

プラグ

グリル

凸マーク(4ヶ所)
目の不自由な方が、鍋をヒーターの中央に置くための目安です。

### 前面表示部・パネル操作部

●前面表示部

電源ランプ
電源スイッチ
(電源の入/切)

●パネル操作部(使用するときは扉を押して開きます)

グリル・中央ヒーター表示窓

チャイルドロックランプ

チャイルドロックキー
• すべての操作をロック

中央ヒーターロックキー
• 中央ヒーターのみロック

• ロックをするときや解除するときは電源スイッチを入れキーを3秒間押す。
• ヒーター使用中はロックできません。
• 電源スイッチを切っても(またはプラグを抜いても)記憶しています。
• ロック時は、前面表示部の中央ヒーターロックランプ、チャイルドロックランプがそれぞれ点灯します。

グリル切/スタートキー

魚焼き・グルメメニューキー

設定キー
• グリル焼きかげん設定
• 中央ヒーター火力設定
• タイマー時間設定

タイマーキー

中央ヒーター切/スタートキー

グリルクリーニングキー

# 設置場所の確認

●火災予防条例、電気設備技術基準第59条に従って設置してください。
●カウンタートップは熱硬化樹脂化粧板(JIS K 6903)と同等以上の耐熱性があるものを使用してください。
ニス引きのものは変色しますので使わないでください。
●製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合、建造物の壁中の金属(メタルラスなど)とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。
●製品は水平に設置してください。
●製品は火災予防上、可燃物との間を図のように離して取り付けてください。

■このクッキングヒーターは「消防法 設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物から図のように離して設置してください。

可燃物
1m以上
可燃物
左右10cm以上
発熱体の外周
15cm以上
器体の最凸部

[消防法 基準適合 組込形]

製品の前面はできるだけ広く(60cm以上)あけて冷蔵庫、家具等の扉が当たらないようにしてください。

■左記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください。

可燃物
1cm以上
防熱板
1cm以上
80cm以上
30cm以上
可燃物
1cm以上
器体の最凸部

防熱板はこれを設けたとき、機器周囲の木壁温度が室温35℃の時100℃を越えない断熱性を有すること。

# システムキッチンの加工寸法 （単位：mm）

R5~R26
460 +5 0
560 +5 0
☆カウンタートップの取付け穴
（開口寸法はJISで定められています。）

560
約170
90
600

システムキッチン背面の壁のこの位置にコンセントを設けてください。

600以上
※2 501
※3 45～65
キャビネット板前面基準
20以上
平坦部
40
※4
※1 220
キャビネット板前面
仕切板
30

※ 部分への突起は不可。

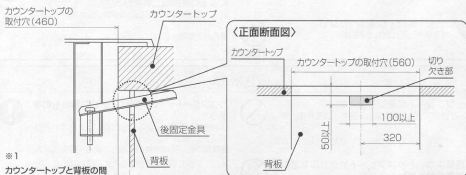
☆仕切板を設けてください。仕切板がないとキャビネット内の温度があがります。また吸・排気口に水をこぼすとキャビネット内に水が落ちます。

- ●※1、※2の寸法は製品寸法ですので、この部分への突起物がないようにしてください。
- ●※1は標準仕様でキャビネット前面の開口寸法は225mm対応となっておりますので、開口寸法が240mm以上で隙間が生じた場合は、別売の下ルーバーをご使用ください。
- ●※3の寸法はカウンタートップの穴位置の基準を示し、この範囲であれば設置できます。
- ●※4のカウンタートップの厚みは、40mmを基準としていますので、厚さが30mmの場合には、別売の上ルーバーをご使用ください。
- ●※4が40mm以上の時は、上ルーバーが接触するので設置できません。

## キャビネットの背面に背板がある場合は、次の加工を行ってください

**●カウンタートップと背板の間（※1）が50mm以下の場合は、後固定金具が通るよう切り欠きを設けてください。**

カウンタートップの取付穴（460）
カウンタートップ
後固定金具
背板
※1
カウンタートップと背板の間

〈正面断面図〉
カウンタートップ
カウンタートップの取付穴（560）
切り欠き部
100以上
50以上
320
背板

# 製品寸法図 （単位：mm）

## トッププレート幅 60cm

### 上面図

599±1.5
506.5±1.5
151
196.1
27.3
150 150

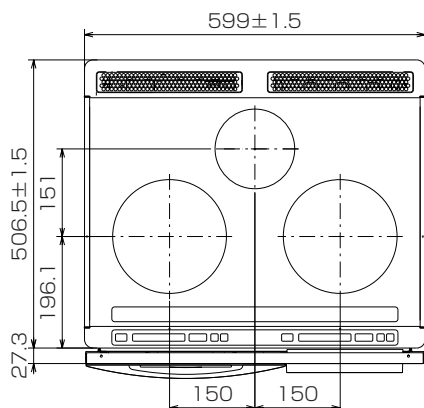
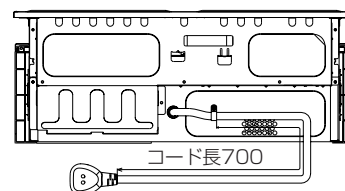
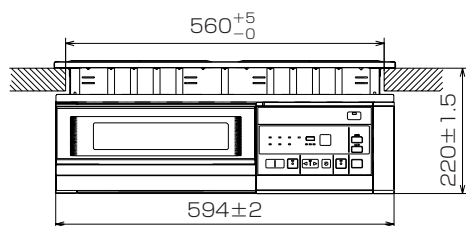
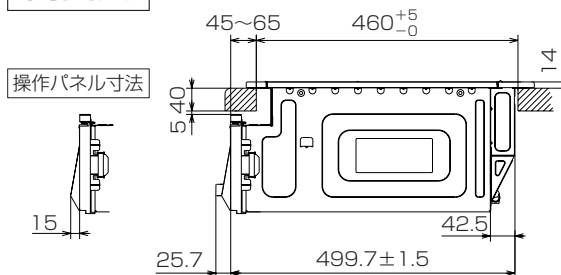
### 後面図

コード長700

### 前面図

560$^{+5}_{-0}$
220±1.5
594±2

### 側面図

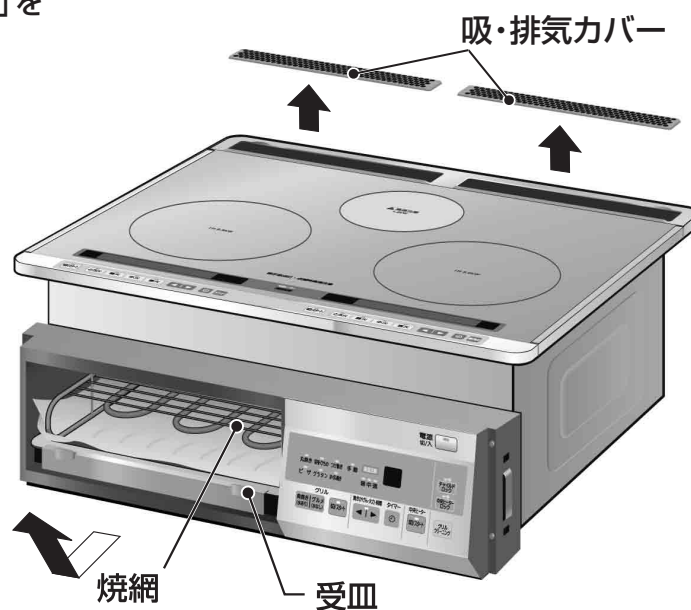
45～65 460$^{+5}_{-0}$
14
操作パネル寸法
5 40
15
42.5
25.7 499.7±1.5

# 設置前の準備

※金属端面が多いため、けがをしないように注意してください。

**1** 「設置工事をされる方へのお願い（2ページ）」を参照し、付属品の確認をする

**2** 受皿、焼網を取り外す

**3** 吸・排気カバーを取り外す

吸・排気カバー
焼網
受皿

# 設置方法　必ずブレーカーをしゃ断して工事を行ってください。

## 1 プラグを差し込む

●カウンタートップに傷をつけないよう、梱包用の段ボール板を敷いてください。

カウンタートップ

段ボール

## 2 カウンタートップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

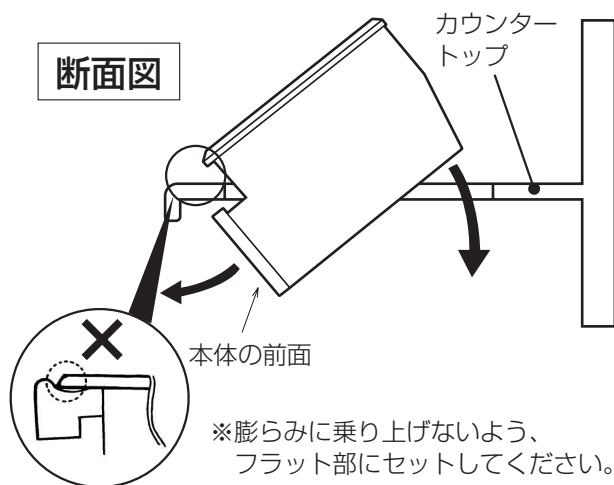
●はめ込み時は、前面のパネル操作部をカウンタートップに当てないように注意してください。（傷がつく原因）
●電源コードを本体底面とキャビネットの間に挟まないようご注意ください。
●カウンタートップと本体のトッププレートのすき間が全周にないことを確認してください。
●トッププレートは、外さないでください。

カウンタートップが反っているなどですき間がある場合は別売のボウスイテープ（HTC-4CB　031:メーカー希望小売価格525円（税抜500円、2006年1月現在））を用いすき間を塞いでください。（水浸入防止のため）

断面図

カウンタートップ

本体の前面

※膨らみに乗り上げないよう、フラット部にセットしてください。

## 3 上ルーバーを取り付け、本体の位置を調整する

●左右側面の差し込み口に、上ルーバーの突起部を差し込んでください。
●プレートワクとカウンタートップの取付穴の距離が図Aの寸法となるよう本体の位置を調節してください。
●上ルーバーとキャビネットの左右側面とのすき間が均一になるように本体位置を調節してください。
●キャビネットの扉面と本体の前面が合うように、本体の位置を調節してください。
●本体の位置を調節する場合は、本体を持ち上げて調節してください。本体を持ち上げないで位置を調節すると、プレートワクの裏側のパッキンがはみ出る場合があります。

突起部　差し込み口

フロントグリル

上ルーバー　上ルーバー

奥まで確実に押し込む。

図A　単位（mm）

15以上　15以上

17以上

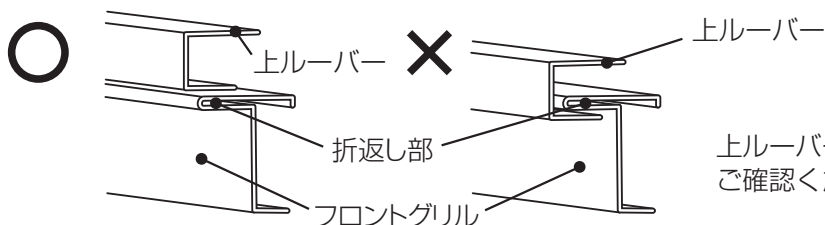
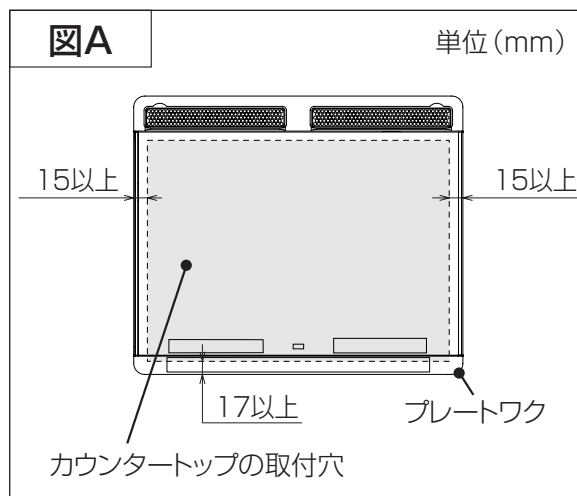
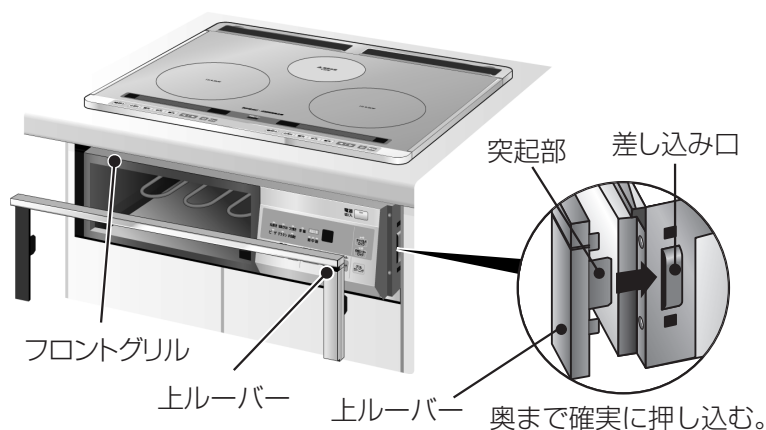
プレートワク

カウンタートップの取付穴

○　上ルーバー

×　上ルーバー

折返し部

フロントグリル

上ルーバーが正常に取り付いているかご確認ください。

## 4 本体を固定する

### 後固定金具（本体に取り付け済み）の固定

ネジをいったんゆるめ、後固定金具を矢印方向に回転させて、
ネジを確実に締め付ける。
※締め付けトルクは80～90N·cmとする。

後固定金具

トッププレート

キャビネット

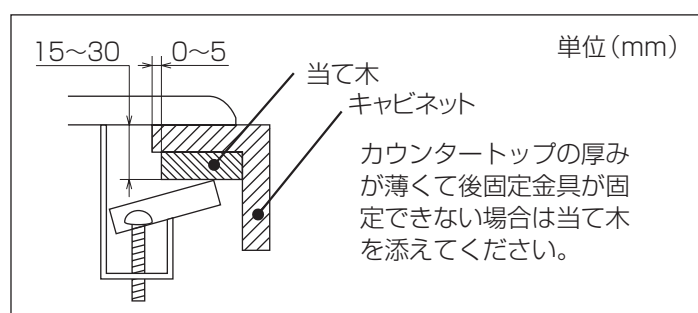
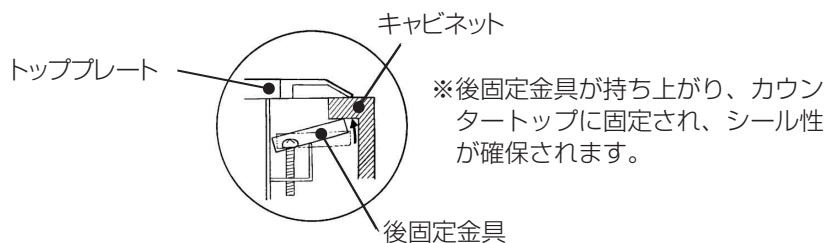
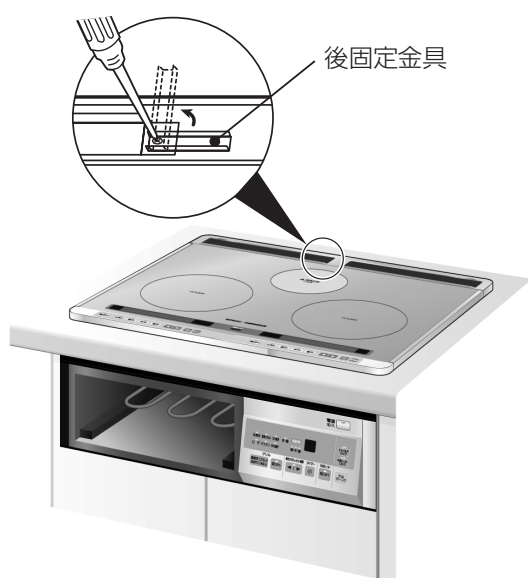
後固定金具

※後固定金具が持ち上がり、カウンタートップに固定され、シール性が確保されます。

15～30　0～5　単位（mm）

当て木

キャビネット

カウンタートップの厚みが薄くて後固定金具が固定できない場合は当て木を添えてください。

## 5 吸・排気カバー、グリルドア、受皿、焼網を取り付ける

●吸・排気カバーを取り付けてください。
●グリルドアに受皿を取付け、焼網をのせ本体に取り付けてください。

吸・排気カバー

グリルドア

受皿

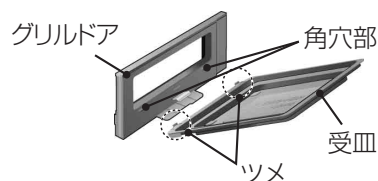
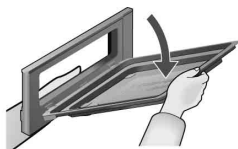
焼網

① 受皿に付いている左右2ヶのツメをグリルドアの角穴部に斜め下より差し込む。

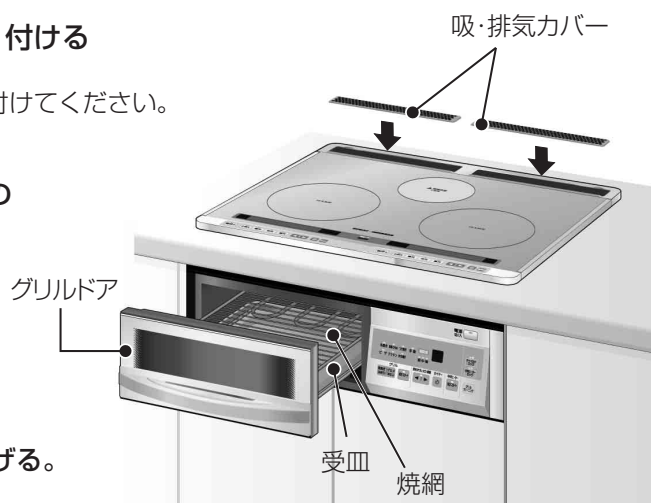
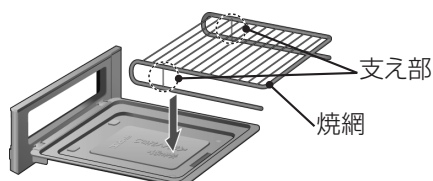
グリルドア

角穴部

受皿

ツメ

② グリルドアを手でささえ、受皿を図のように下げる。
※カチッと音がして受皿が固定されます。

③ 焼網をのせる。
○焼網は支え部をグリルの手前にしてのせてください。
※のせる向きを逆にすると、本体に取り付けられません。

支え部

焼網

# 工事完了後の確認

●通電をする前にグリル庫内、トッププレートの上に梱包材がないことを必ず確認してください。
●設置工事終了後、次の手順で確認してください。

| | 確認項目 | 確認欄 |
|---|---|---|
| 梱包材の取り外し | グリル部のテープ止めを外し、パッキンを外したか確認してください。 | |
| | グリル庫内、トッププレート上に梱包材がないか確認してください。 | |
| 付属品などの取り付け | 吸・排気カバー・上ルーバー・グリル部(ドア・受皿・焼網)を取り付けましたか。 | |
| 電気工事 | アース工事（D種接地工事）をしましたか。 | |
| | 漏電ブレーカーの設置をしましたか。 | |
| | プラグを接続しましたか。 | |
| 試運転 | ①クッキングヒーター用の電源電圧が「単相200V」であることを必ず確認してください。<br>（電圧異常の場合は C61 または C6 を表示します） | |
| | ②電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。 ▶ ●電源ランプが点灯します。 | |
| | ③各ヒーターまたはグリルを「入」にして、動作を確認してください。 | |
| | (1)左·右ヒーター（IHヒーター）<br>鍋にコップ1杯程度（約200mL）の水を入れ、ヒーターの中央に置き、中火キーを押した後、切/スタートキーを押してください。<br>※鍋を置かないと通電しません。<br>▶ ●上面操作部の左・右ヒーターの通電ランプと上面表示部の液晶表示がオレンジとなり、火力「7」と表示します。しばらくすると、お湯が沸とうします。 | |
| | (2)中央ヒーター（クイックラジエントヒーター）<br>パネル操作部の中央ヒーターの切/スタートキーを押した後 ▶ キーを押してください。<br>※グリルとの同時使用は出来ません。<br>▶ ●パネル操作部の中央ヒーター火力表示ランプと上面表示部の高温注意表示ランプが点灯し、約4秒後にヒーターが赤熱します。 | |
| | (3)グリル<br>パネル操作部のメニューキーを押して手動を選び、グリルの切/スタートキーを押してください。<br>※中央ヒーターとの同時使用は出来ません。<br>▶ ●パネル操作部のグリル通電表示が点灯し、しばらくすると庫内が熱くなります。 | |
| | (4)すべてのヒーターとグリルを停止してください。<br>左·右ヒーター、中央ヒーターの切/スタートキーを押します。またグリルの切/スタートキーを押して停止してください。<br>▶ ●火力表示・通電ランプが消灯します。<br>（通電時間によっては高温注意表示をします。） | |

◎各ヒーターを停止後、約45分経過すると待機時消費電力オフ機能が働き、自動的に電源ランプが消灯し、電源が切れます。

**●確認終了後は必ず電源スイッチを押して電源を切ってください。**
**●試運転で付属の天ぷら鍋を使用する場合は、スポンジ等で水洗いしてから使用してください。**
**また使用後は、水気を十分に切り、内側に軽く食用油をぬってください。**（さび防止のため）


◎日立アプライアンス株式会社

〒105−8410 東京都港区西新橋 2−15−12 電話 (03)3502−2111